地域産業分科会・テーマ一覧

①農家の後継者不足
②スターチスで御坊を活性化
③プラスチックの危機
④地域の活性化
⑤地元の飲食業を通じた地域活性化
⑥地域活性化のために
⑦地域の産業について
⑧黒竹と御坊人形（地域の伝統文化）

地域産業の中間発表会は理科棟の化学実験室で開催され、各班がこれまでの取組経過とこれからの見通しについて発表を行いました。内容は昨年度からの継続テーマである「スターチスを使った地域活性化」のほか、「農家の後継者問題」「地域の伝統産業」等多岐にわたり、英語での発表にチャレンジした班も２班ありました。指導助言には和歌山大学の岸上光克（きしがみ みつよし）教授をお迎えしました。どの発表も後半戦ではどのように内容が深化していくか、楽しみなものばかりです。

地域文化分科会・テーマ一覧

①愛する故郷に観光客を
②金山寺味噌を食べてもらおう
③方言～今まで明かされてこなかった語尾～
④歴史ある祭りを後世に残すために～御坊祭り～
⑤国道 42 号線から見る和歌山
⑥私たちが使っている方言
⑦安珍・清姫を世界へ
⑧道成寺の民話

地域文化の発表は「道成寺」「方言」「祭り」など、毎年研究が行われているテーマもあれば、今までにはなかった「国道４２号線」に着目するグループもあり、多様な発表がなされました。

また指導助言には、和歌山大学の 岩野 清美（いわの　きよみ）准教授をお迎えし、講評をいただきました。特に「安珍・清姫を世界へ」というテーマで研究をしているグループは、いかにして道成寺物語を発信していくかを教授に質問している姿が印象的でした。

今回の反省を活かし、最終発表にどう繋げていくのか、これからの取組に期待していきたいです。

2学年 SG課題研究Ⅱ（総合的な学習の時間）中間発表vol.2

発表会は、指導助言をしてくださった大学研究者や和歌山県教育委員会指導主事のほかに、福島県の3名の先生方にも参観していただきました。先生方からはそれぞれに評価コメントをいただいています。代表して、福島県立会津第二高等学校の小松直人先生からのコメント文を以下に紹介します。

質の高い発表を、全員が行えるという学校は、日本に数えるほどしかないと思います。素晴らしい発表でした。最終発表に向けて、さらに研究を深めていってください。”Think Globally, Act Locally” という言葉がありますが、地域課題について考えることは、日本の課題、世界の課題を考えることにつながっています。実際に福島県でも、観光客の誘致、防災などは、共通の課題です。（福島はこれらに加え、原発の後処理、風評被害対策があります。）

是非、目の前の課題の解決に精一杯取り組みながら、他の地域、そして世界に視野を広げていってください！

和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第9号
２０１８年１１月２日